

あぜがみ順平の考える
“スマート田園都市・越谷”構想

「暮らす」
「働く」

「暮らす」まちから
「人生を選ぶ」まちへ

こしがや未来通信 2.0

自分らしく生き活きと「暮らす」

多様な生き方を支える「環境」「賑わい」「文化」のある越谷をつくります。日に日に多様化が進むライフスタイル。東京でも地方でも実現出来ない、「越谷だからできる」多様なライフスタイルを提案し、実現の後押しをして参ります。文化・交流拠点の新設を目指します。

文化・交流拠点の新設を目指します

越谷サンシティの老朽化に対応するため、文化施設の継続利用の必要性和公共施設の集約・複合化を踏まえ、代替地に市民ホール・図書館・子育て支援・健康増進・マルシェ機能等を組み合わせた複合型文化・交流拠点を新設します。国や県の支援策を活かして新設し、市の財政負担の軽減を図ります。

車が無くても暮らせるまちをつくります

生活に必要な用を身近で足せるよう、各地区の商店会を活性化し、買い物先や外食先の維持を図るとともに、交通安全にもつながる無電柱化を進めます。自転車利用の促進、かかりつけ病院・薬局の利用を促します。あわせて、駅前エリアなどで歩行者空間の活用(歩行者天国等)を進め、賑わいと回遊性を高めます。

越谷だからこそできる 農と自然と寄り添う暮らしを応援します

市内に多く残る農地を活かし、農業と住まいを一体化した新たなライフスタイル(クラインガルテン、半農暮らし)を提案します。水道や電力に頼らず自然と共に暮らせる「オフグリッド住宅」の導入を促進し、環境にもやさしい越谷らしい暮らしの実現を目指します。必要に応じて、国や県とも連携し「田園住居地域」の指定等、農地利用に係る制度の柔軟な運用についても働きかけていきます。

討議資料

選択と挑戦、自分らしく「働く」

越谷市内で、自分らしく働ける、選択と挑戦の出来る環境を広げます。暮らしと同様、働き方も多様化が進んでいます。越谷に拠点を置いて働く、越谷の資源を使って働く、越谷の価値を上げる仕事をする皆さんを全力で応援します。

「水辺の利活用」など越谷で新しいことに チャレンジする人を応援します

スタートアップや創業の支援を充実させ、空き店舗を活かした起業を促進することで、商店街を元気にします。地域資源であるsakura lakeを水辺のスタートアップ拠点として整備し、国が進める「ミズベリング」と協力して、若い世代の挑戦がまちの賑わいにつながる流れをつくります。

越谷で働き、越谷で暮らす そんなライフスタイルを応援します

今、注目されているライフスタイル「職住近接」を推進するため、地元に住む人が市内で働けるようにサポートするとともに、若い世代や子育て世代が越谷に移り住み、仕事も生活もここで完結できるよう、働く場所や働き方の選択肢を広げます。都内企業のサテライトオフィスや本社の誘致にも力を入れ、越谷にしっかり仕事場をつくります。

伝統をつなぎ、働く力に変えるまちをつくります

越谷だるま、ひな人形、甲冑、桐箱、桐たんす、籠染灯笼、都うちわ等を地域資源として守り、次世代につなげます。製作技術の発信や体験イベント、販路拡大支援を通じて、国内のみならず海外にもその魅力を広げるとともに、後継者育成支援にも取り組みます。後継者には、若者や職人志望者だけでなく、女性や高齢者、障がいのある方など多様な人材が関われる仕組みを整えます。また、学校と連携した職業体験や、伝統工芸を活かした観光・まちづくりとの連動も進め、越谷らしい伝統文化の継承と地域産業の活性化を目指します。

あぜがみ順平が考える「スマート田園都市・越谷」構想「8つのミッション」

豊かな自然環境と都市の利便性をコンパクトな地域内に融合させた、新しい形の田園都市を目指します。かつての田園都市論に、未来志向の考え方やテクノロジーを掛け合わせ、生きていくことに欠かせない暮らしの要素が循環する、持続可能なまちづくりです。

ひら「拓く」



田園都市の魅力を最大限に活かした「未来への投資」を行います。

- ・インフラや地域拠点施設を再整備します。
- ・市街化調整区域に企業や新産業を積極的に誘致します。
- ・交通ネットワークを再構築します。

「守る」



防災・防犯・医療の体制を強化し「生命と財産」を守ります。

- ・国や埼玉県と強固に連携し、治水対策を推進します。
- ・安心して暮らせる環境を守るための防犯対策を推進します。
- ・市立病院を核とした医療体制を強化します。

「暮らす」



多様な生き方を支える「環境」「賑わい」「文化」のある越谷をつくりまします。

- ・文化・交流拠点の新設を目指します。
- ・車が無くても暮らせるまちをつくりまします。
- ・越谷だからこそできる、農と自然と寄り添う暮らしを応援します。

「働く」



越谷で自分らしく働きやすく、選択と挑戦のできる環境を広げまします。

- ・水辺の利活用(元祖)など越谷で新しいことにチャレンジする人を応援します。
- ・越谷で働き、越谷で暮らす。そんなライフスタイルを応援します。
- ・伝統をつなぎ、働く力に変えるまちをつくりまします。

「育む」



子どもから大人まで多様な学びの機会をつくり、未来を育む教育を進めまします。

- ・地域とともに育ち、多様な学びを支える教育を進めまします。
- ・子どもたちの通学環境の改善に取り組みまします。
- ・いじめや色々な悩みを抱える子どもたちを学校×地域で支えまします。

「支えあう」



どんな世代の人も、どんな背景の人も安心して支え合える仕組みをつくりまします。

- ・多世代型包括支援センターを設置まします。
- ・ケアをひとりで抱え込まない地域をつくりまします。
- ・地域防災の要・消防団をしっかり支えまします。

「つながる」



「緩いつながり」「多層的なつながり」を増やし、地域の誰かにつながっている状態をつくり出まします。

- ・自治会を人と人がつながる場に、時代に合わせて進化させまします。
- ・多文化が調和するまち越谷を支援と連携でつくりまします。
- ・指定地域共同活動団体制度を導入まします。

「楽しむ」



地域資源と市民の力を活かし、毎日笑顔が溢れるまちをつくりまします。

- ・「スポーツのまち・越谷」にしまします。
- ・にぎわい拠点の創出とエンタメ文化を醸成しまします。
- ・市民参加と地域力・次世代を育てるまちづくりを進めまします。

あぜがみ順平ってこんなヒト!



妻・高校生の娘と中学生の息子との4人暮らし。水廻り掃除と、木の種類を見分ける事が得意。

クラフトビール好きが高じて「越谷水辺エール」というクラフトビールを作りました!

- 1976年 越谷市越ヶ谷本町(袋町)に生まれる
- 1988年 越谷市立東越谷小学校卒業
- 1991年 私立成城中学校卒業
- 1994年 私立成城高校卒業
- 1998年 芝浦工業大学工学部建築学科卒業
- 2001年 芝浦工業大学大学院建設工学専攻修了
- 2005年 けやき建築設計開所
- 2009年 芝浦工業大学非常勤講師着任
- 2015年 越谷市議会議員 当選
- 2017年 越谷市長選挙に立候補(惜敗)
- 2018年 越ヶ谷宿はかり屋管理会社
一般社団法人 越谷テロワール 代表理事
- 2022年 レイクタウン水辺のまちづくり会社
레이크アンドピース株式会社設立 代表取締役



趣味は各地のクラフトビール屋さん巡りが高じて「越谷水辺エール」を開発



越谷市内の移動は専らオレンジの自転車健康な暮らしを実践中!



6歳、越ヶ谷秋まつり山車をバックに弟と



畔上ガラスの創設者でもあり越谷市商工会の会長だった祖父との一枚

詳しい情報はWEBをチェック!



あぜがみ順平
公式WEBサイト
azegamijunpei.com